

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	(株)アース	事業所名	看多機サボテン
所在地	(〒270-2203) 松戸市六高台3-77		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・ 複合型サービスの一体化のメリットを十分に発揮し、利用者様の個別性に合わせた柔軟な支援を行い、在宅生活を支えています。
- ・ 終末期、ご自宅のみでは難しい医療ケアのある方を、主治医・多職種の関係機関との連携を密に行い、ご本人・ご家族に寄り添った支援を行っています。
- ・ 24 時間、365 日対応で、安全安心な生活ができるサービスを提供します。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2025 年 3 月 1 日	従業者等自己評価 実施人数	(17) 人	※管理者を含む
----------------	-------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2025 年 5 月 28 日	出席人数 (合計)	(9) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (2 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 (人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 (3 人) <input type="checkbox"/> その他 (人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
			自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>① 理念の明確化 会社理念を記してある「道するべ」を用い、社・事業所の理念について説明を行う。</p> <p>② 各スタッフのスキルに合わせた年間目標・計画を立案し、実施する。定期的に面談を行い指導、助言をする。</p> <p>③ 社内研修への積極的な参加</p> <p>④ 就業規則に沿って安全、安心できる職場環境の整備</p> <p>⑤ ミーティング、カンファレンスで情報共有</p> <p>⑥ マニュアルの更新と活用</p> <p>⑦ 手順書の更新と活用</p> <p>⑧ 環境整備</p> <p>⑨ 事故報告書の共有と迅速な振り返り</p>	<p>① 会社・事業所の理念を記した「道するべ」を用いた研修、勉強会の実施。 また毎週朝礼時読み合わせを実施。</p> <p>② 各スタッフと年3回、定期的に面談し達成度の確認を行い、必要に応じて指導、助言を行った。</p> <p>③ 毎月、会社全体の研修会を開き年に数回外部講師を招待し感染対策（消毒）、体温測定、マスクの着用を依頼し必須研修を実施。 またビデオ研修、ZOOMによる研修、QRコードを読み取り YouTube による研修を実施した。</p> <p>④ 必要性のある残業業務への説明と理解を得るよう努めた。効率よく業務進行できるよう、役割分担を明確にし、リーダー力 UP 育成に努めた。</p>	<p>①研修会、勉強会への出席を促し取り組んでいる。まだ理解できない点もあるので研修会、勉強会は継続する。研修後は全員がレポート提出をしている。また研修内容で業務に生かせることは日々取り入れ実践している。</p> <p>②目標、計画の立案についてのアドバイスや声掛けは出来たが、面談まで出来なかったスタッフが1名。全員出来るようにしていく。また定期的に問題があったときに個別の面談は出来たが全員には出来なかった。</p> <p>③毎月会社全体の研修会が開催された。QRコードを読み取り YouTube での視聴が出来るようになり参加しやすくなり良かった。</p> <p>感染対策としては事業所に二酸化炭素警告があり、お知らせが入り定期的な換気・消毒</p>	<p>・全体的に、いつもこの項目の多い資料の作成をよくやっていると感じている。</p> <p>・前年度の評価に比べ、職員の中で、出来ているとおおむね出来ているが増えているのは素晴らしい。職員自体も成長している事業所を実感できているのではないだろうか。</p> <p>・職員の離職もなく1年が経過しすごいことだと思う</p> <p>・もっと地域との交流を行っていく事が課題</p> <p>・地域密着であり、もっと登録件数が増える工夫をしていかなければならない</p>

		<p>⑤ 頻度高いミーティング、毎週のカンファレンスの時間を確保し、情報の共有を情報用紙に記入し徹底した。</p> <p>⑥ 必要なマニュアルの更新に取り組んだ。ケア内容の向上を行った。</p> <p>⑦ 業務やケアの手順書の再確認を行い、変更箇所は修正し統一したケアが行えるようにした。日勤、夜勤のマニュアルを用い統一したケアの手順が行えるようにした。</p> <p>⑧ 安全、安楽に、支援がスムーズに行えるように整理整頓し環境整備を行った。</p> <p>⑨ ヒヤリハット、事故報告は当日事業所で共有し、対策を話し合い再発防止に努めた。</p>	<p>は継続することができている。</p> <p>④業務の分担を明確にしたことにより効率的な動きとなり、残業を減らすことができた。また朝晩遅番の配置を行い様々にニーズの利用者を受け入れが出来るように配置を行った。</p> <p>⑤毎日ミーティングの時間を確保することで情報の共有はできたが、週一回のみのカンファレンスの時間になったしまったこともあったが、カンファレンスの時間を確実に情報の共有が出来た。</p> <p>⑥まだ加筆、修正など必要であり継続して取り組んでいき、新規利用者にも柔軟な対応が出来るように対応している。</p> <p>⑧安全、安楽に支援がスムーズに行えるように整理整頓が自ら環境整備が出来るようになった。</p> <p>統一したケアが提供できるようになった。再発防止を事</p>	
--	--	--	--	--

				<p>業所全員で考えることが出来ている。</p> <p>⑨インシデント・アクシデント報告書は必ずスタッフ間で共有し、事業所内で対策を検討。スタッフの危機管理の意識を高めた。改善案をまとめて話し合い同じ事故が起きないように考察している。</p>	
Ⅱ. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）</p>	<p>①情報共有し、専門性を持った視点での計画書の作成</p> <p>②ミーティングによる情報の共有</p> <p>③利用者のニーズに合わせたプランを立て臨機応変に対応していく。</p> <p>④医療ニーズの高い利用者や看取りの相談も積極的に受け入れられるような支援体制を構築する</p>	<p>①介護・看護それぞれの視点でアセスメントし、利用者の状態、希望に沿った計画を立てた。</p> <p>②必要時、その都度カンファレンスを実施し情報の共有を行った。</p> <p>③利用者の状態変化時や要望があった場合は、ケアマネを中心に計画の見直しを行った。</p> <p>④喀痰吸引など医療行為のある方の支援体制を整え、受け入れは可能な限り受けた。</p>	<p>①②③利用者、家族の希望に沿った計画を立て支援することで、利用者も意欲を持って目標に向かうことができた。</p> <p>また、問題が発生した時や状態変化時は、その都度カンファレンスを行い、計画の見直しをするなど、臨機応変に対応する事ができた。</p> <p>今後もその時々にあった計画を立て直し、支援できる体制を継続していきたい。</p> <p>④経管栄養・吸引の医療ケアの支援体制は整えられた。最重度の人工呼吸器の方の支援もできるように教育体制を確立していきたい。</p>	

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>①他の事業所との合同研修の検討。 ②病院や訪問診療医とのカンファレンスへの参加</p>	<p>①集団での研修を行い、外部講師を招いての講習も行っている。 ②退院前、合同カンファレンスに参加し、在宅での生活が円滑にできるように情報の共有、医師や相談員から情報収集を行った。</p>	<p>①ZOOMでの研修を組み入れる等、時間の確保も確立していきたい。 ②退院前、合同カンファレンスに参加し、情報収集、情報共有することで、在宅に戻ってからの生活支援がスムーズに行えた。また状態変化により、支援内容の変更すべき点も見え、事前に利用者、家族と相談し、支援内容を決定することができた。</p>	
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>①地域の方々や地域他機関へ事業所の役割など情報発信を行い、事業所の特色についての理解を広めていく。 ②医療依存度の高い方も受け入れられるように研修を継続的に実施し、支援体制を整えていく。</p>	<p>① 地域でのイベント情報を収集し、積極的に参加。地域の方とのコミュニケーションを図り信頼関係を築く。また看多機でのイベント主催が可能となり、地域の方が参加でき看多機とはどのような場所か知ってもらいきっかけができた。 ② 地域の方がいつでも気軽に來ることができるような雰囲気づくり。 施設でのイベント情報を掲</p>	<p>①地域への集団のイベントへの参加や看多機が主催を行い地域交流が出来た。 ②支援相談があった場合は、積極的に関りを持ち、中には利用開始となったケースもあった。 今後も地域の方が住み慣れた家で生活できるよう、協力、支援していきたい。</p>	

			<p>示板で知らせるなど効果的であった。</p> <p>③ 上記イベント時など、気軽に相談できるような雰囲気づくり、声掛けを行う。地域包括や介護相談の連絡があったら、積極的に関りを持ち支援相談にのる。</p>		
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<p>①地域の医療ニーズの高い方終末期の方、独居の方などの相談、支援を受け入れられるような体制を整備する。</p> <p>②地域との交流（町会行事への参加）</p> <p>③近隣の方々とのコミュニケーションを良好に保つ。</p>	<p>① 介護職員のあらゆる医療ケアの必要な方の受け入れができるよう体制を整える。</p> <p>② 地域のイベント情報を得る。積極的に参加する。</p> <p>③ 明るくあいさつをする。施設内のイベントへ招待し開かれた関係性を構築する。</p>	<p>①人工呼吸器である利用者の管理構築は出来ていない。知識・技術ともに教育体制を整え受け入れるようにしていきたい。家族の希望を反映させたサービスの提供を継続していく。</p> <p>②介護・看護職の情報共有、連携を密にとり、利用者、家族が安心してサービスを受けられるよう質の向上に向けての体制づくりを構築していく。</p> <p>③地域交流のイベントを行い、地域のイベントへ参加をして地域との交流を密に保つ。</p>		

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目		改善計画（案）	運営推進会議における意見等
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		① 事業所の理念、サービス内容についての理解をより一層深めていき、サービスの質の向上に繋げていく ② 情報共有を昨年度以上に徹底 統一したケアの提供、業務の効率化を図る ③ スタッフの危機管理能力を高め、災害時などの緊急時に迅速な対応ができるよう、事業所としての『避難訓練散歩』を実施していく（2 カ月に 1 回） ④ 運営推進会議へのスタッフ参加を今年度より行う	・全体的に、いつもこの項目の多い資料の作成をよくやっていると感心している。 ・職員の離職もなく 1 年が経過しすごいことだと思う ・もっと地域との交流を行っていく事が課題
Ⅱ．サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 （評価項目 11～27)	利用者様が、少しずつではあるがここ一年で着実に増えてきている。各サービス利用件数が増えていく中、全ての利用者様に平等にサービスが提供していけるよう、いかに訪問も活用していけるかが今年の課題。 支援計画への訪問介護と看護の積極的利用を行っていく。	・地域密着であり、もっと登録件数が増える工夫をしていかなければならない
	2. 多機関・多職種との連携 （評価項目 28～31)	運営推進会議へのスタッフ参加を今年度より行う。 運営推進会議議事録の情報共有を全スタッフに行っていく。	・良い案だと思う
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41)	地域活動への参加。 地域の他事業所との連携をはかっていく。	・もっと地域との交流を行っていく事が課題

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>		<p>◎医療的ケアへ積極的に対応できる</p> <p>◎色々な方法で情報共有が出来ており、統一したケアが提供できるよう努力している</p> <p>◎利用者様とご家族の意向に沿って支援するよう心掛けている</p> <p>◎看取り対応の実績があり、経験豊富であり練度が高い</p> <p>◎看多機サボテンを利用してよかったと言われる</p> <p>↑</p> <p>スタッフが、当事業所に対して誇れる部分や特徴、こういう事業所にしたい。等について記入した内容。</p> <p>これらの看多機サボテンとしての特色を、この六実・六高台地域の方々にもっと知ってもらい、いかに利用してもらえるか。</p> <p>この地域で、『最期まで安心して暮らせる街づくり』を支援出来る事業所に成長していく。</p>	<p>・前年度の評価に比べ、職員の中で、出来ているとおおむね出来ているが増えているのは素晴らしい。職員自体も成長している事業所を実感できているのではないだろうか。</p>

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		15	2		<div>[具体的な状況・取組内容]</div> <div>・ターミナル期の方も積極的に受け入れており、看取りの支援も行えている。 ・介護福祉士の吸引研修を行っており、医療的ケアの出来るスタッフがいる ・ケアプランに基づいた支援が出来ている。</div>	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	2	15				<div>[具体的な状況・取組内容]</div> <div>・理解できていないスタッフに教えられている</div>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	3	9	4	1		✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・ オレンジファイルの活用 ・ 年間の個人目標を決めて取り組んでいる					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	6	4	6	1		✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・ 外の研修にはあまり参加出来ていない					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	4	13				✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
				<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・カンファレンスの議事録作成 ・危険を感じたらその都度話し合う			
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	2	8	3	4		✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の観点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	6	5	6			✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・労働時間への配慮 ・働きやすい ・職員全体での助け合いが出来ていると思う					
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	3	12	2			✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・朝礼での申し送り ・申し送りノートの活用 ・基本情報シートと訪問作業手順書を作成している					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない		
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	3	9	5			✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・事故対策委員会の取り組み ・利用者様の安全な送迎 ・事故が起きた際の当日カンファレンスの実施					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	2	11	4			✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・定期的な避難訓練の実施 （3，9月大規模防災訓練の実施） ・災害時の対応についての研修 ・どの程度の備蓄があるのかを把握できていない					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	12	4			✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
		[具体的な状況・取組内容] ・定められている通所サービス時間外でも送迎を行い対応している					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	3	10	4			✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネも含めたカンファレンスが出来ている。 ・共有ファイルの存在により、全職員が情報共有出来ている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	3	10	4			✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・担当者会議の実施 ・ケアマネとご家族の密な情報共有、ニーズの把握が出来ており、計画変更を随時行い臨機応変な対応が行われている。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	3	10	4			✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・理学療法士、作業療法士による機能維持と向上が行われている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	3	8	5			✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・共有ファイルと申し送りの実施					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	2	14	1			✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	7	9			✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	3	14				✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	6	10	1			✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・医療と介護、お互いの役割分担が出来ている。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている。	8	9				✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・些細な事も看護職に報告している ・必要に応じ、頻度高くミーティングを行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	11	6				✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
[具体的な状況・取組内容] ・状態変化などは、随時申し送りノートやチャットワーク等で情報共有が行われている。							
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	4	8	5			✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
[具体的な状況・取組内容] ・主に、ケアマネや管理者が担っている。							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	11		5		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	10		5		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	8	4		5		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1	9	5	2		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	2	8	7			✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容]					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	5	6	4	2		✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられる
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	4	9	4			✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	13	4				✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、 利用者のために必要と考え られる包括的なサポートに ついて、民生委員・地域包 括支援センター・市区町村 職員等への情報提供や提案 が行われている	3	14				✓ 「利用者のために必要となる、介 護保険外のサービスやインフォ ーマルサポート等を含めたケア の提供について、多職種とともに 検討・支援を行っていくなどの取 組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことが ない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や 町会長などの住民代表も対象で す

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	2	5	8	2		✓ 「誰でも見ることができる方法 での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
		[具体的な状況・取組内容]					
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極 的な啓発活動が行われている	1	8	8			✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や 「地域説明会の実施」などの取組 が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できてい ない		
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	2	3	7	5		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	8				✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い な い	全 く でき て い な い		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	9	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	8				<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		5	10	2		<div>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</div> <div>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</div> <div>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」</div>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	7	8	1	1		<div>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</div> <div>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</div> <div>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</div>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていない		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	4	9	3		<div>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</div> <div>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</div> <div>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</div>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		10	4	3		<div>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</div> <div>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整え</div>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おお よ そ で き て い る	あ ま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
							<p>ていくなどの役割も期待されま す</p> <p>✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (7) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (10) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u>		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (4) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (13) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・「通い出して元気になってきた。」という声を頂いている。 ・食事が摂れていなかった方が、ミキサー食を摂取できるようになった。		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における 意見等	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (7)</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (10)</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・看取り対応の実績があり、スタッフのは経験豊富であり練度が高い。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>